

町田市のごみ減量・資源化の進捗状況について

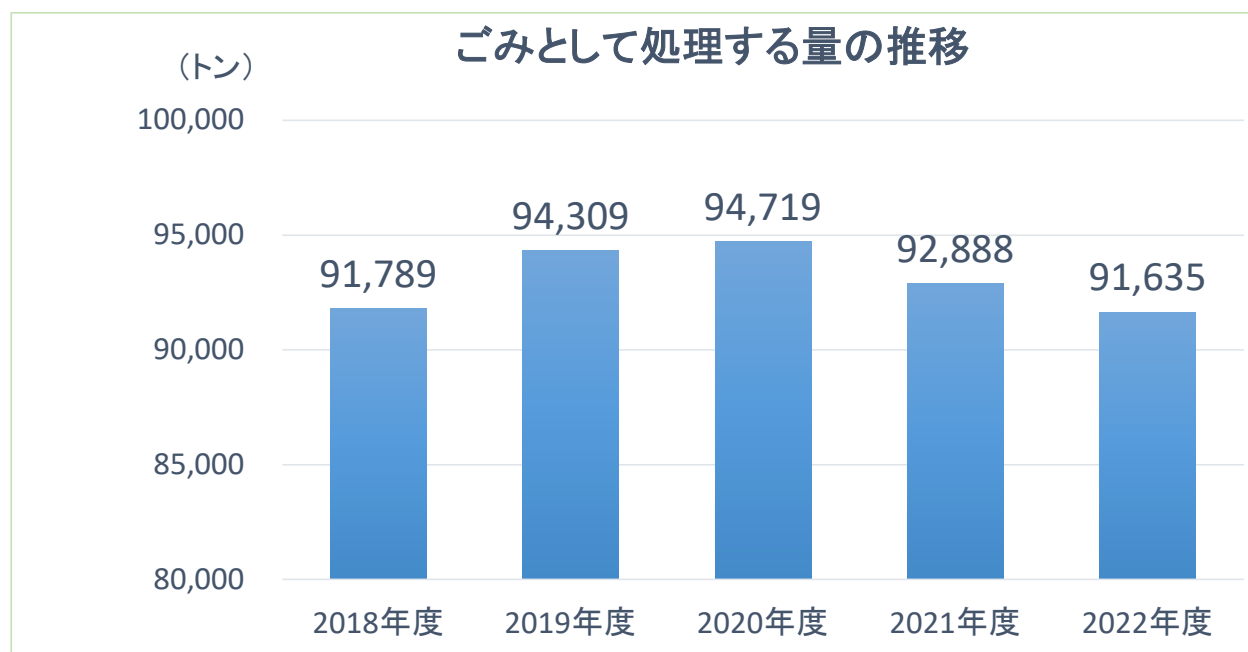
説明内容

1. ごみ量の状況
2. ごみ減量・資源化の取組状況
3. 資源ごみ処理施設の整備状況
4. 今後の見込

1.ごみ量の状況

(1) ごみとして処理する量

町田市内のごみとして処理する量（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ量の合計）は、2020年度の94,719トン进行ピークとして減少傾向にあり、2022年度は、91,635トンとなりました。

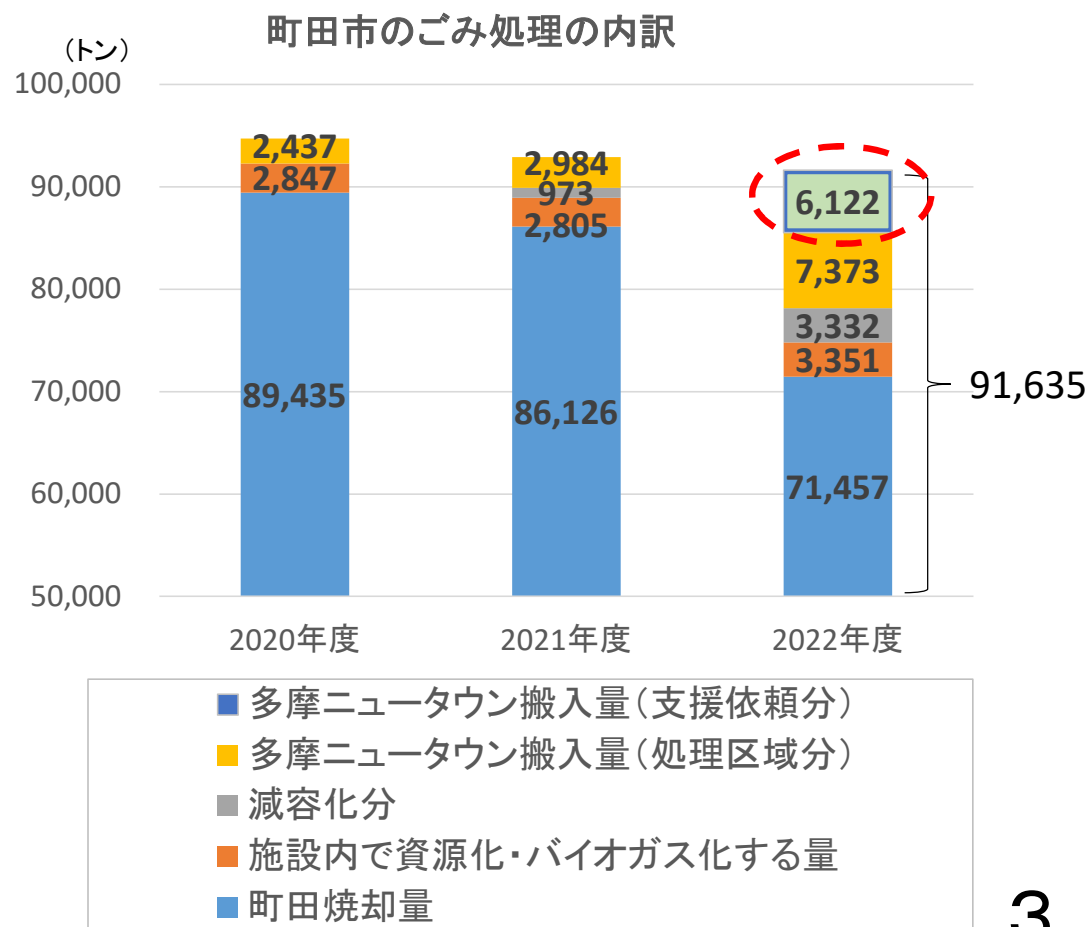


1.ごみ量の状況

(2) ごみとして処理する量の内訳と 支援依頼ごみの搬入量

2022年1月からの町田市バイオエネルギーセンターの本格稼働及び2022年4月からの多摩ニュータウン環境組合の処理区域の変更（拡大）によって、2022年度から処理量の内訳が変わっています。

上限を10,000トンとしていた支援依頼ごみの搬入量について、2022年度の実績は、6,122トンとなりました。



2.ごみ減量・資源化の取組状況

ごみ減量・資源化を進めるため、従前の取組に加えて、2022年度から新たな取組を開始しました。

(1) 公共施設へのマイボトル専用給水器の設置開始 (2022年5月～)

マイボトルの普及を促進することで、プラスチックごみの削減を推進するため、民間事業者との協力により、公共施設へのマイボトル専用給水器の設置を進めています。

(2) デジタルサイネージを活用した食品ロス削減の啓発 (2022年12月～1月)

宴会が多い年末年始のシーズンに路線バス車内のデジタルサイネージ（電子看板）を活用して、食品ロス削減のPRを行いました。

(3) 家庭用生ごみ処理機の普及促進 (2023年2月～)

従前から家庭用生ごみ処理機購入の補助を行っていましたが、さらなる普及促進のため、新たに市内の電器店等にポスターやポップの掲示を行いました。



マイボトル
専用給水器

2.ごみ減量・資源化の取組状況

(4) 市庁舎でのフードドライブ開始 (2023年2月～)

食品ロスの削減に向けて、町田市社会福祉協議会の協力のもと、市庁舎でのフードドライブ（未利用食品の受付）を開始しました。



フードドライブで
集まった食品

(5) 環境イベント「まちだ eco to フェスタ」の開催 (2023年3月)

ごみ減量・資源化を含めた環境施策全般のPRのため、新たな環境イベント「まちだ eco to フェスタ」を町田市バイオエネルギーセンターで開催しました。

当日は、講演会や民間事業者のPRブース、ステージイベントなどのプログラムを行い、約4,000名の来場者がありました。



Eco to フェスタの様子

(6) インターネット掲示板「ジモティー」との協定締結 (2023年3月)

粗大ごみ再生販売の促進のため、(株)ジモティーと協定を締結し、販売中の商品をインターネット掲示板で閲覧できるサービスを開始しました。

2.ごみ減量・資源化の取組状況

(7) 使い捨てコンタクトの空ケース回収 (2023年4月～)

プラスチックごみの資源化に向けて、民間事業者と協力し、使い捨てコンタクトの空ケースの回収を開始しました。専用の回収ボックスを公共施設へ設置し、回収した空ケースは、自動車部品や家電製品の一部に資源化されています。

また、資源化により得た収益は、日本アイバンク協会へ寄付されています。

(8) 食品ロス削減推進計画の策定 (2023年8月)

食品ロスの削減を総合的に進めるため、「町田市食品ロス削減推進計画」を新たに策定いたしました。

重点事業として掲げた、「フードドライブの拡大」、「フードシェアリングサービスの開始」、「食品リサイクル施設の活用」をはじめとした様々な取組を通して、食品ロス削減を推進していきます。



コンタクト空ケースの回収ボックス

3.資源ごみ処理施設の整備状況

町田市の資源ごみ処理施設等の整備について定めた「町田市資源循環型施設整備基本計画」を2023年5月に改定しました。

改定内容は、計画ごみ処理量の見直しのほか、事業スケジュールの見直しを行い、相原エリアの施設は2028年度、上小山田エリアの施設は2037年度の稼働予定としました。

現在の状況は、相原地区については、施設用地の取得を進めるとともに、施設の整備工事発注に向けた発注仕様書の準備を進めています。上小山田地区については、関係者との協議および調整を進めています。

今後、施設の完成を急ぐとともに、業務委託等の暫定的な資源化方法を検討し、プラスチックの資源化について、早期の市全域での展開を目指していきます。



4. 今後の見込

町田市では、市民・事業者への啓発強化、新たな品目の資源化など、ごみの減量を推進するための施策を強化してまいりましたが、依然として町田市バイオエネルギーセンターでは、市内で発生する可燃ごみの一部を処理できない状況です。

2023年度においても、年間4,000トン程度の可燃ごみの処理を多摩清掃工場へお願いしております。

多摩清掃工場周辺住民の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。